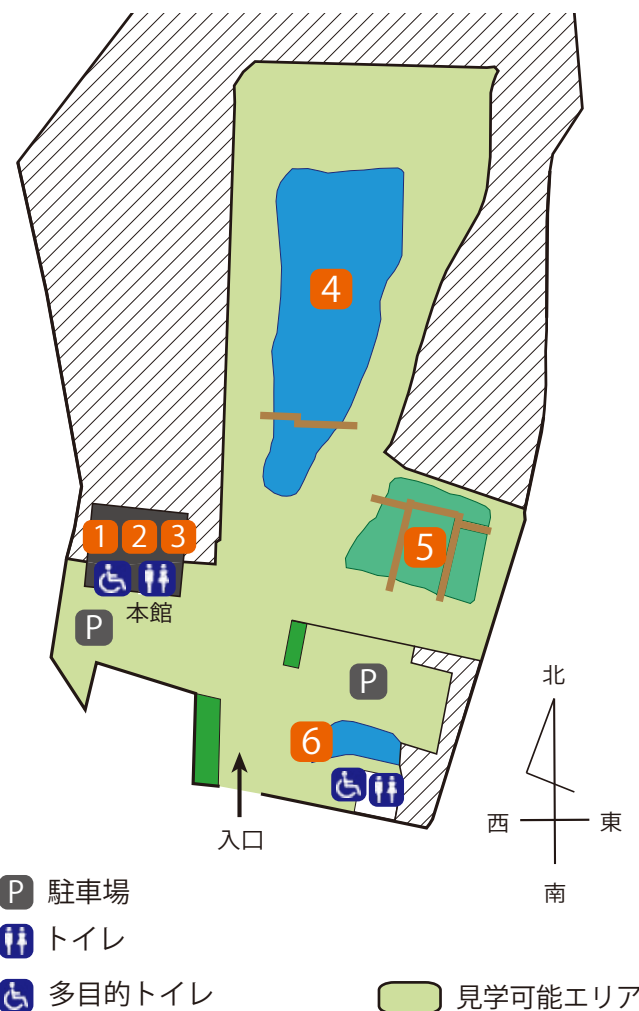


ご利用案内

生物多様性センターでは、生物多様性に関する情報を発信しています。
施設はご自由に見学いただけますので、ぜひお越し下さい！



1 常設展示エリア
野生動物のはく製や淡水魚、パネル等を展示しています。



4 ビオトープ池
さまざまな水辺の生物を観察できます。



2 企画展示エリア
生物多様性に関する企画展を実施しています。



5 水辺の植物園
田んぼやため池などに生育する水生植物を観察できます。



3 研修室
生物多様性に関する研修を実施しています。(要申込)



6 コイの池
コイのえさやり体験ができます。(なくなり次第終了)

ご利用者のみなさまへ
(学校関係者、事業者、NPO 団体等)

生物多様性センターでは、生物多様性に関する研修プログラム(見学・講義等)を提供しています。

講義テーマ例：「生物多様性」「外来生物」「淀川の淡水魚」
「天然記念物イタセンパラの生態」
「林業」「森林生態」「都市緑化」「野生動物」
「鳥獣被害対策」など

団体見学および研修・講義依頼については、
依頼フォームページからご依頼ください。
<https://www.knsk-osaka.jp/ssl/biodiv/kengaku/>



※個人・少人数の見学は申込み不要です。開館時間中ご自由にご見学ください。

大阪 生物多様性センター

<https://www.knsk-osaka.jp/biodiv/>

ホームページでは大阪に生息する生物の図鑑も公開しています！



開館時間：
平日午前9時30分から午後5時
(12月から3月は午後4時まで)
土日祝・年末年始(12/29～1/3)は休館



〒572-0088 大阪府寝屋川市木屋元町 10-4
TEL：072-833-2770
FAX：072-831-0229

おおさかの生物多様性を学ぼう！



地方独立行政法人
大阪府立環境農林水産総合研究所
生物多様性センター



生物多様性センターの業務

豊かな自然環境や全てのいのちと共生する社会を構築し、多面的機能や恩恵をこれからも享受し続けるために、生物多様性センターでは大阪の生物多様性の把握・評価・保全・普及や、持続可能な利活用に向けた調査研究に取り組めます。

在来生物の調査・保全

野生動植物の生息状況の把握や、生息・生育環境の保全、希少種の生息域外での保存に関する調査研究をします。



水生生物調査



野生動物調査



天然記念物イタセンパラの保全（国内希少野生動植物種）

外来生物の影響調査と対策

外来生物の侵入状況や、在来生物および生態系に及ぼす影響、さらにその影響を回避するための対策について調査研究をします。



特定外来生物 チャネルキャットフィッシュ



特定外来生物 アライグマ



特定外来生物 クビアカツカミキリ

府民の安心安全を守る取組

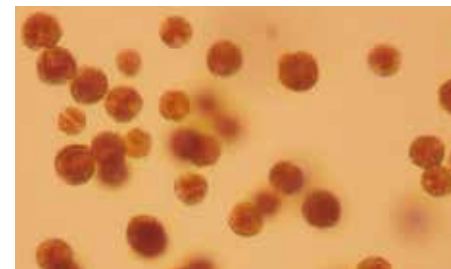
生態系を活用した災害に強い森づくりや野生鳥獣害対策の調査研究、魚病検査、貝毒原因プランクトン調査などの危険管理対応をします。



森林の防災・減災対策



魚類へい死事故対応



貝毒原因プランクトン調査

生物多様性活動支援・技術普及

生物多様性に関する教材の作成、研修会等を通じた環境教育や技術普及、多様な主体と連携した生物多様性活動の提案や支援をします。



生物多様性センターサポートスタッフ



事業者支援活動



研修会の開催

生物のつながりの把握と活用

「ネイチャーポジティブ（自然再興）」の実現に向けて、生態系の健全性の回復や自然を活用した社会課題の解決に関する調査研究を実施していきます。

生物多様性とは？

「生物多様性」とは、私たち人間も含め、様々な個性をもつたくさんの生物が、ほかの生物や環境とつながり合いながら存在することを示す概念です。生物は、農林水産資源として私たちの生活を支えるだけでなく、工業や医療にも活用されています。生物を育む豊かな自然環境は、きれいな空気や水を供給する浄化作用をもち、雨水を蓄えたり、大地を支えて災害を防いでくれています。また、生物たちが織りなす美しい風景は、豊かな感性を育み、文化や芸術の発展や、レクリエーションにも役立っています。生物多様性が健全に保たれてこそ、私たちは安定して持続的に、豊かな生活を送ることができるのです。

